

Kabu Berry 主催 IR セミナー & 投資家交流会

東証グロース 証券コード :5532
株式会社リアルゲイト
2026 年 6 月 28 日 (日)



IVY WORKS



代表取締役

岩本 裕

一級建築士 1973 年生まれ

東京都市大学(旧武蔵工業大学)工学部建築学科卒業

趣味：パワーリフティング(ベンチプレス 160kg)

1996 年 4 月 ● 五洋建設に新卒入社

2001 年 7 月 ● 大京に入社

2004 年 11 月 ● プロパストに入社

2009 年 8 月 ● **リアルゲイト設立**

2021 年 7 月 ● サイバーエージェントの連結子会社化

2023 年 6 月 ● 東京証券取引所グロース市場に上場

2024 年 6 月 ● 累計プロジェクト数 100 件突破

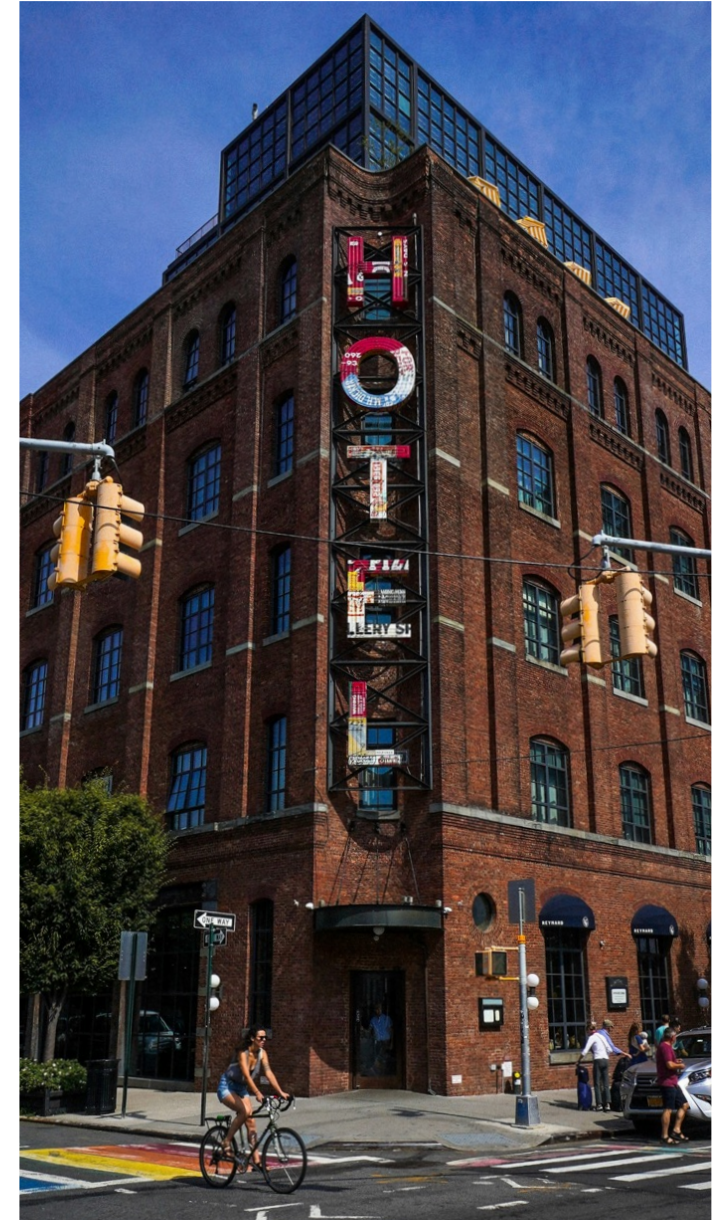
2026 年 2 月 ● ヒューリックとの合併会社設立

Our Vision

古いものに価値を、
不動産にクリエイティブを、
働き方に自由を

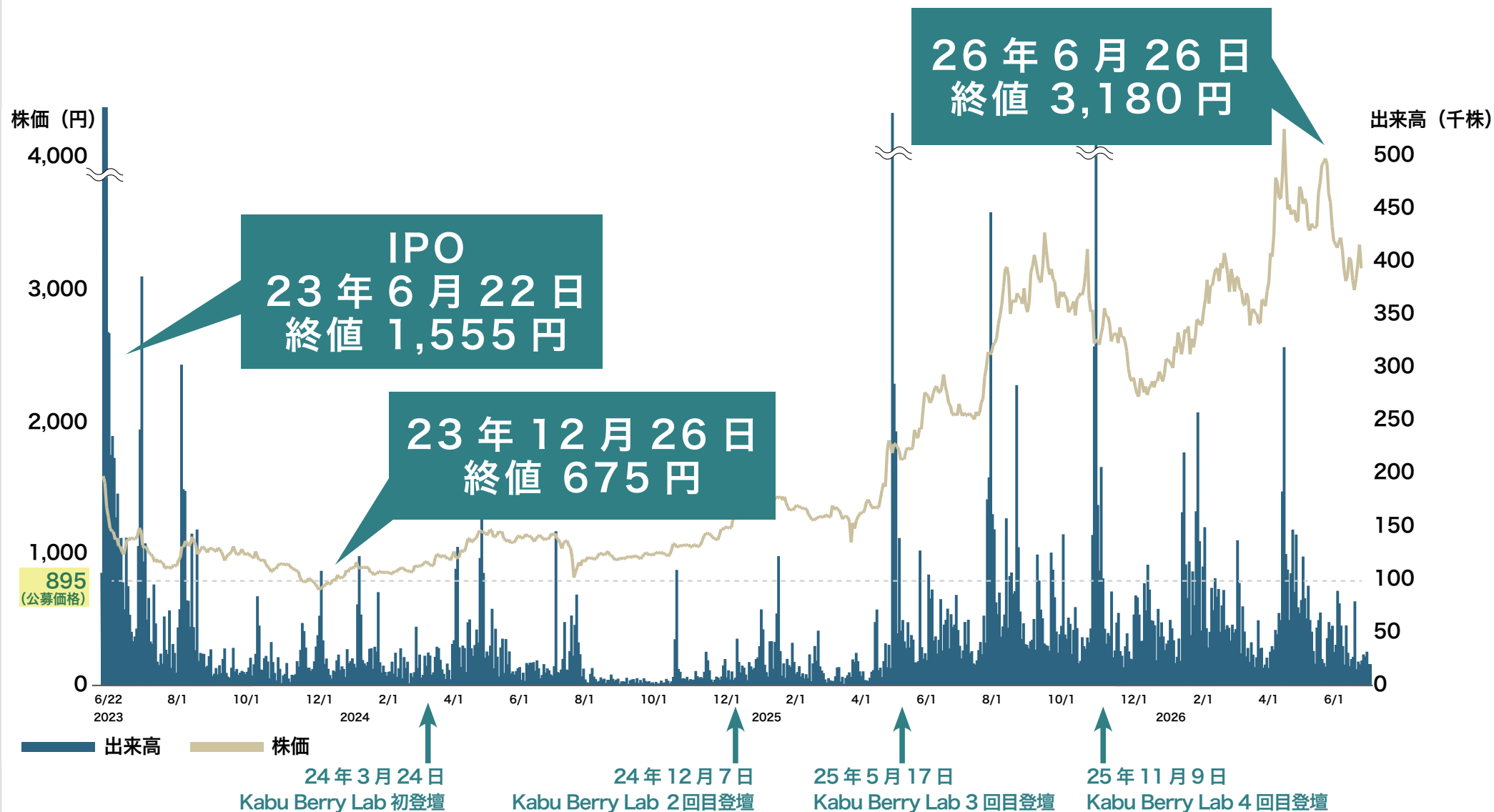
【起業のきっかけ】

日本では古い建物を壊し、
ヴィンテージ風の新築を建てる矛盾
純粹にもっと古い建物を生かすべきだ



株価・出来高推移

IPO 初日の初値は 1,905 円（23 年 6 月 22 日）
上場来最安値は 649 円（23 年 12 月 26 日）





01 リアルゲイトについて

02 リアルゲイトの強み

03 26 年 9 月期 第 2 四半期決算

04 成長戦略

フレキシブルワークプレイス事業(FWP 事業)

シェアオフィスやスモールオフィス等を組み込み、収益性が低下した不動産を一棟で再生する事業

THE WORKS

BEFORE



AFTER



▲エレベーター新設



▲スカイテラス新設



▲倉庫から店舗への用途変更





キャッシュポイントを増やししながら業績を拡大

JV モデル

物件を共同保有し、設計・施工収入や PM 収入に加え、持分に応じた賃料収入や物件売却益を得る

HistoRy
HULIC & REALGATE

ストック型 & フロー型
2026 年～

キャピタルゲインモデル（物件売却）

保有する物件を売却して売却益を得る。
売却後は PM や ML を受託し、ストック収入に繋げる

フロー型
2023 年～

再生物件保有モデル（保有）

自ら物件を購入、バリューアップし賃料収入を得る

ストック型
2021 年～

設計・施工モデル

< 2017 年 一級建築士事務所 > < 2020 年 特定建設業許可 >

物件バリューアップのための設計や工事業務を請け負い収益を得る

フロー型
2017 年～

マスターリースモデル（ML）

オーナーより物件を固定賃料で 10 ～ 20 年間借り上げ、バリューアップ後にテナントへ転貸する

ストック型
2012 年～

プロパティマネジメントモデル（PM）

オーナーの物件をバリューアップし、運営を行うことで手数料収入を得る

ストック型
2009 年～

中目黒駅から徒歩 13 分・築 45 年・エレベーター無・5 階建ての
倉庫兼事務所を、オフィスと店舗等の複合施設にリノベーション

● THE WORKS 運営総床面積 1,871㎡

BEFORE



AFTER



中目黒駅から徒歩 13 分・築 45 年・エレベーター無・5 階建ての
倉庫兼事務所を、オフィスと店舗等の複合施設にリノベーション

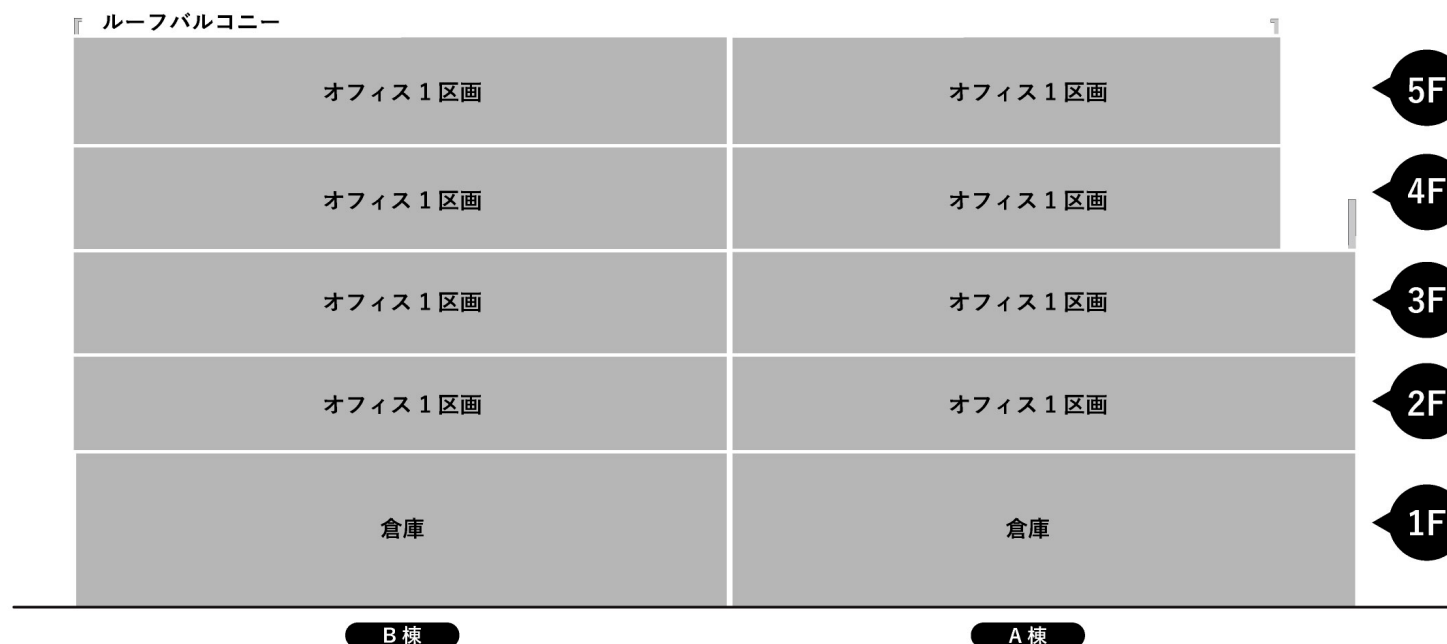
ML THE WORKS

運営総床面積 1,871㎡

1969 年竣工

倉庫・事務所

エレベーター無の倉庫兼事務所ビル
1 フロア 1 区画の区割り

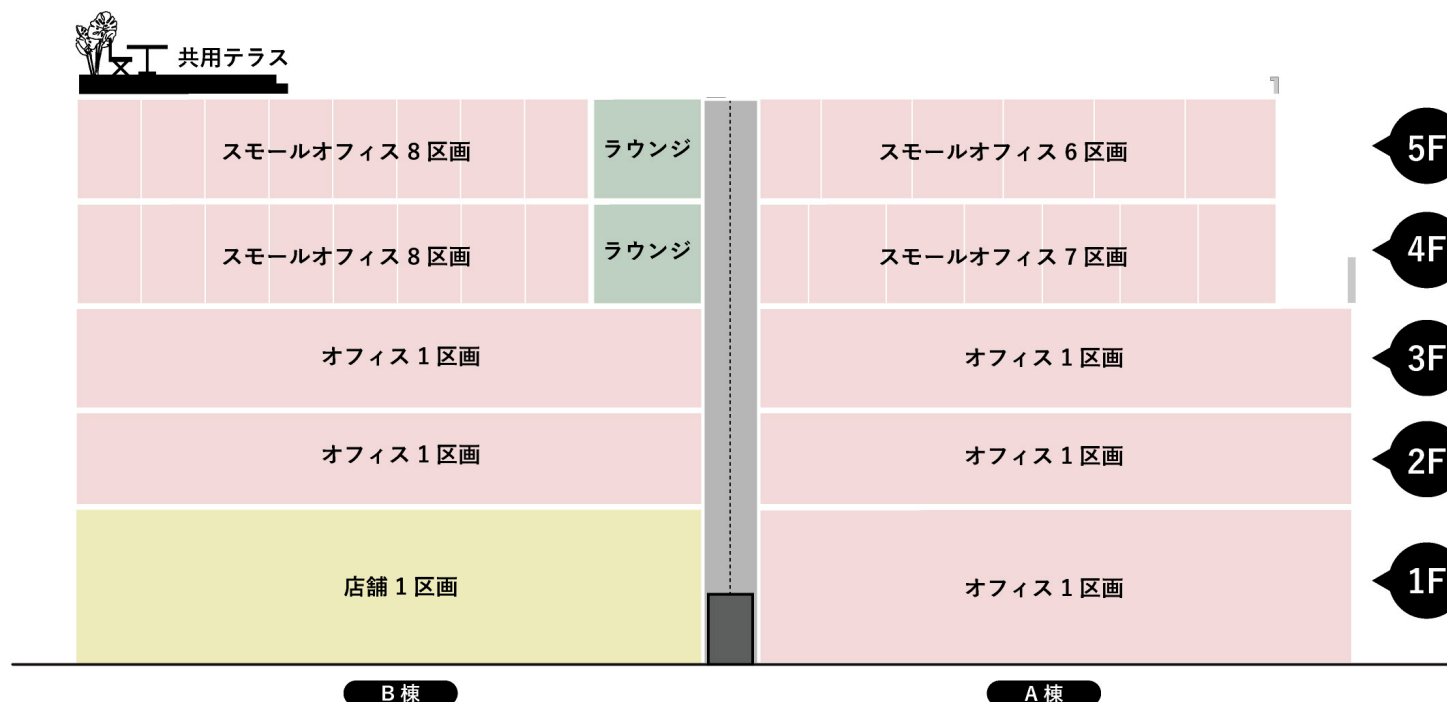


中目黒駅から徒歩 13 分・築 45 年・エレベーター無・5 階建ての
倉庫兼事務所を、オフィスと店舗等の複合施設にリノベーション

ML THE WORKS 運営総床面積 1,871㎡

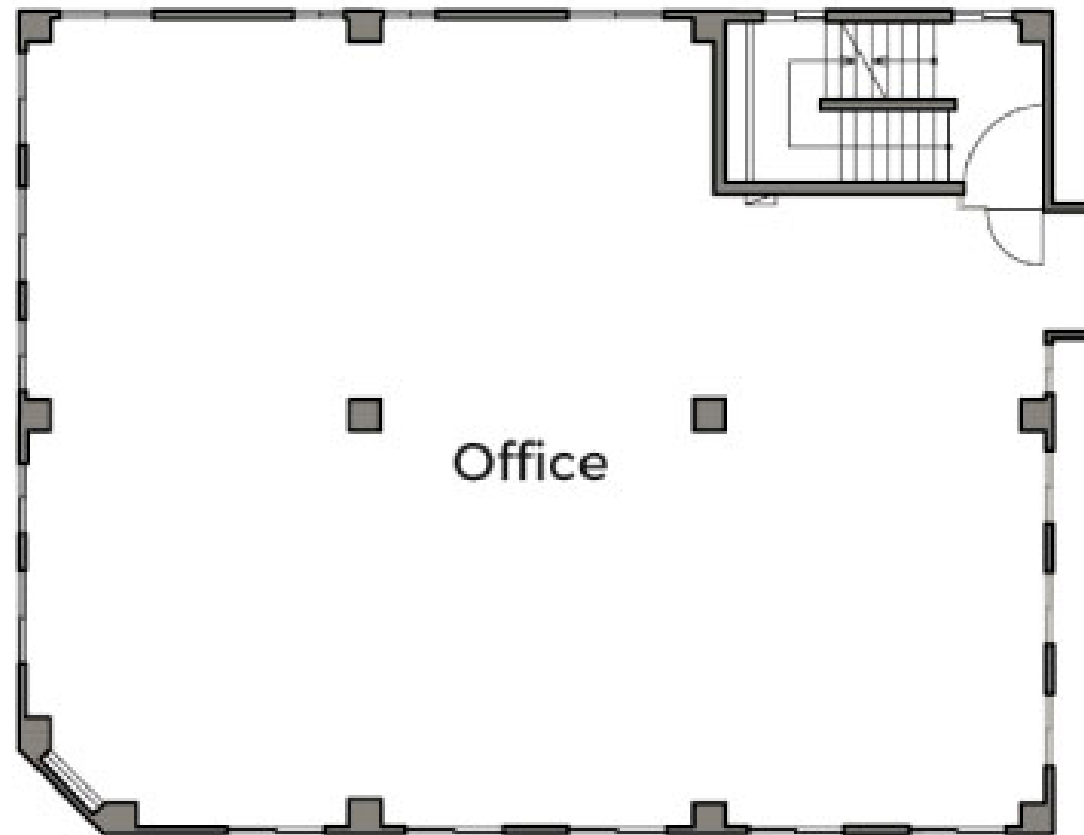
2014 年再生 シェアオフィス + 店舗

全 27 区画 15 ～ 47㎡ のスモールオフィスへ



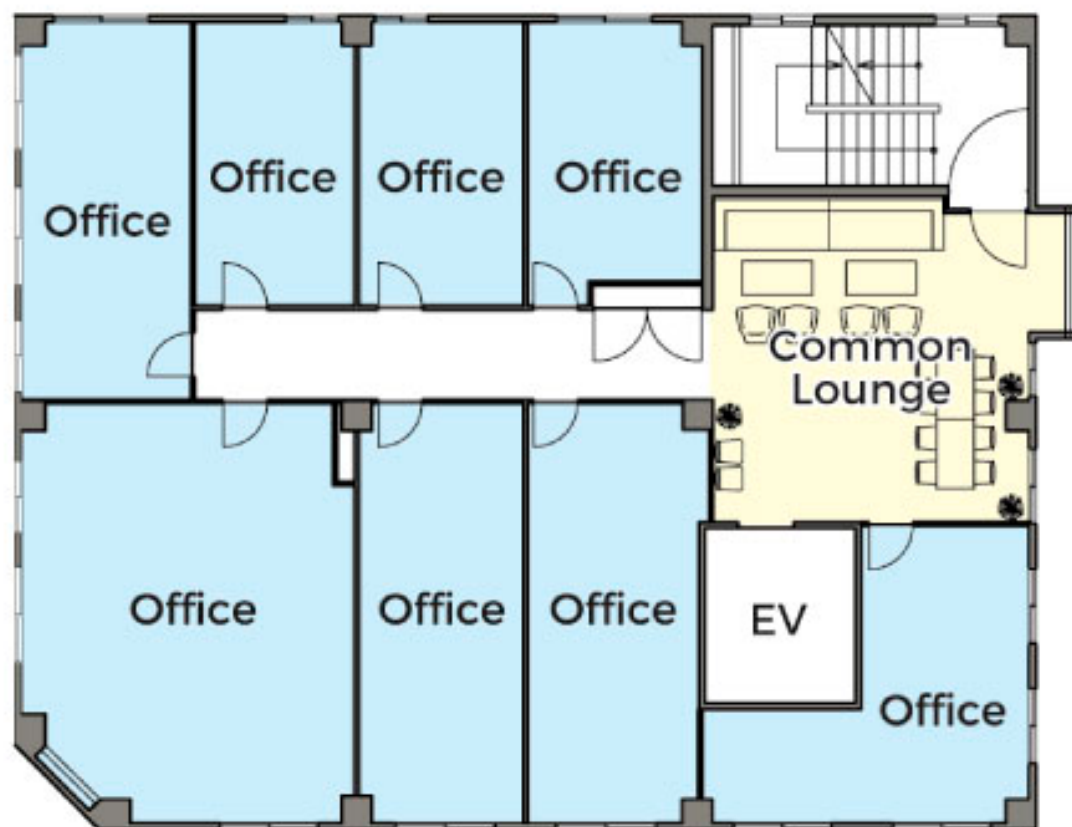
BEFORE

オフィス1区画



AFTER

オフィス 8 区画 + 共用ラウンジ



AFTER

エレベーター新設



BEFORE

倉庫から店舗へ用途変更



AFTER

倉庫から店舗へ用途変更



BEFORE

スカイテラス新設



AFTER

スカイテラス新設



FWP 事業による築古ビル再生により、収益性が大きく向上

賃料収入（月額）

780万円



再生前

BEFORE



FWP 事業による築古ビル再生により、収益性が大きく向上

賃料収入（月額）

1,930万円

2.5倍

780万円



再生前



再生後

AFTER



渋谷区千駄ヶ谷で築 57 年・全 15 区画の住宅を 1 棟丸ごとリノベーションし、全 30 区画のオフィス・店舗等の複合施設へコンバージョン

保有 B TRACK 運営総床面積 1,505㎡

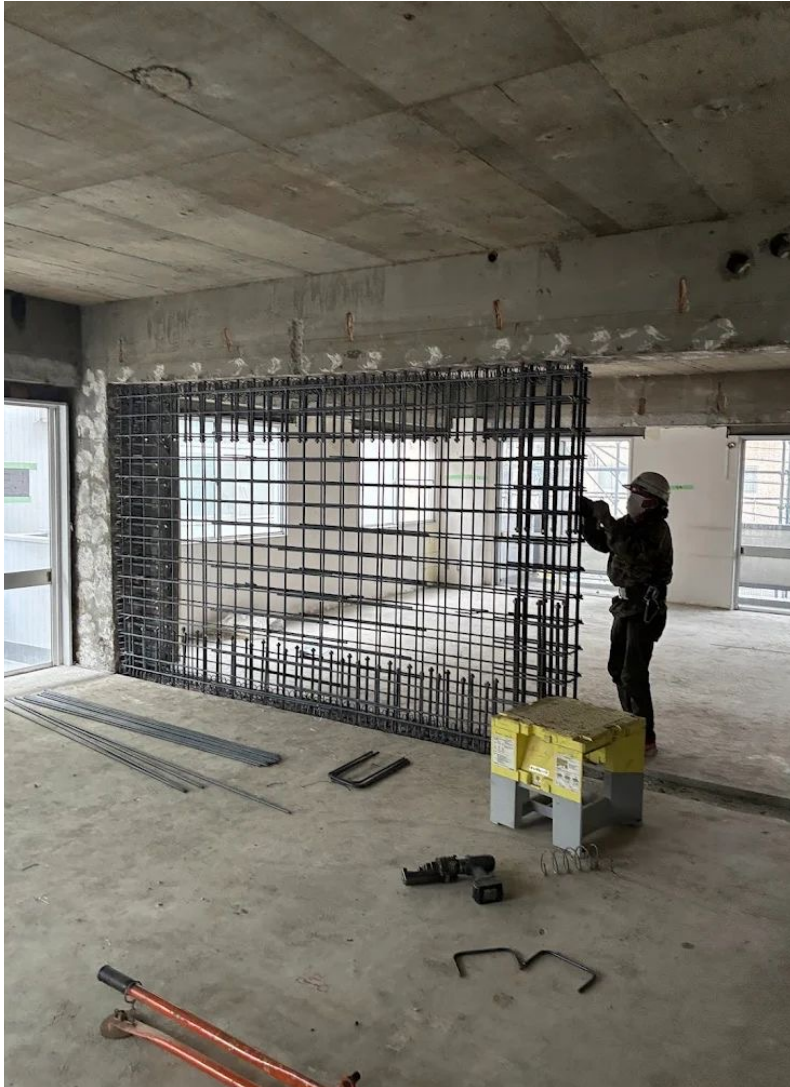
BEFORE



AFTER



耐震補強を行うことで安心・安全なビルへ再生



耐震補強を行うことで安心・安全なビルへ再生



BEFORE

住宅をオフィスに用途変更



AFTER

住宅をオフィスに用途変更



BEFORE

1 区画を共用ラウンジに改修



AFTER

1 区画を共用ラウンジに改修



BEFORE

違法な増築部分を解体・適法化し、
スカイテラスを新設



AFTER

違法な増築部分を解体・適法化し、
スカイテラスを新設



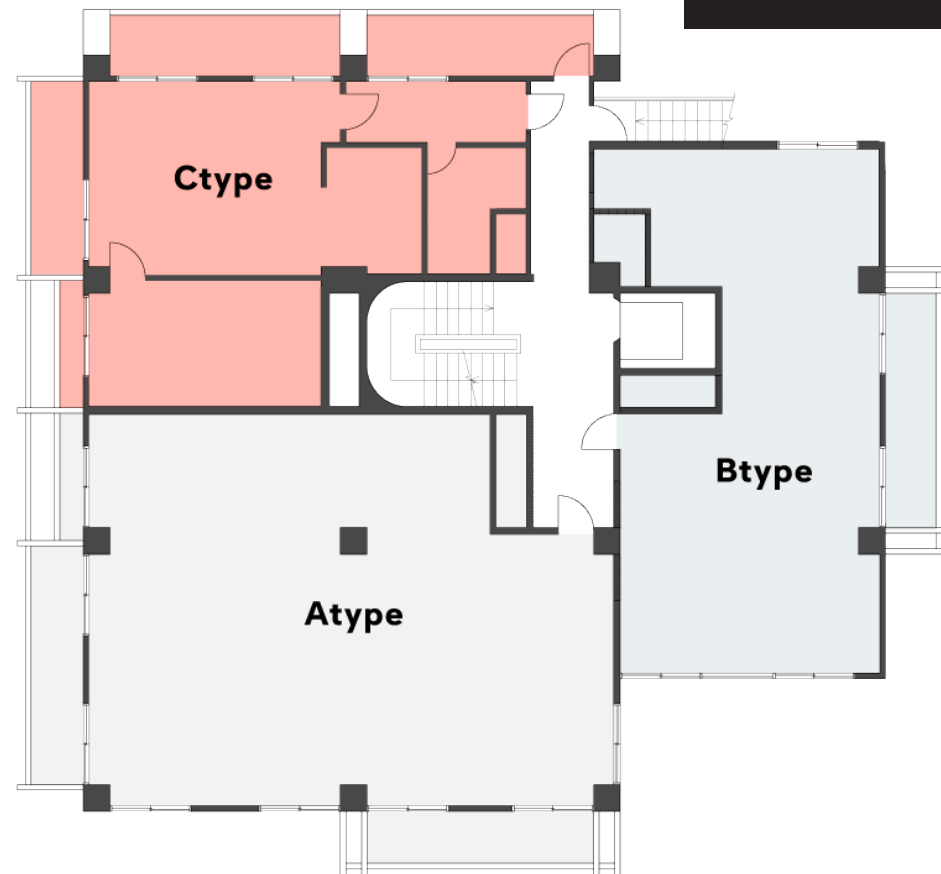
再生により、60m²の部屋は月額 20 万円から、
月額 60 万円のオフィスへバリューアップ

ビル全体の坪単価

1.1万円/坪

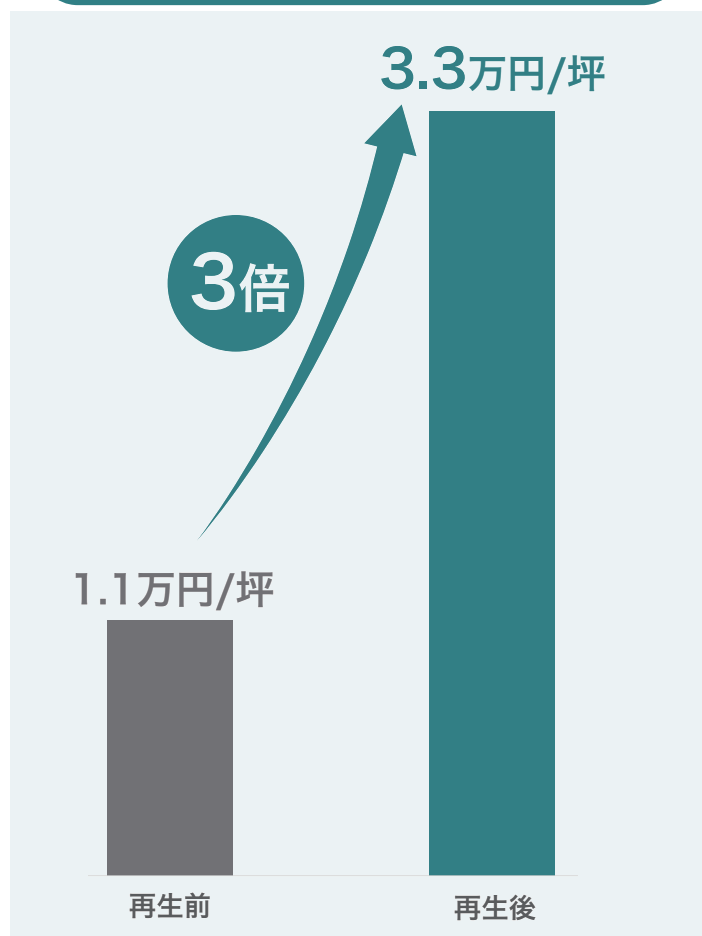
再生前

BEFORE



再生により、60m² の部屋は月額 20 万円から、
月額 60 万円のオフィスへバリューアップ

ビル全体の坪単価



AFTER



主な展開エリア

渋谷区 **34**件

港区 **18**件

目黒区 **16**件

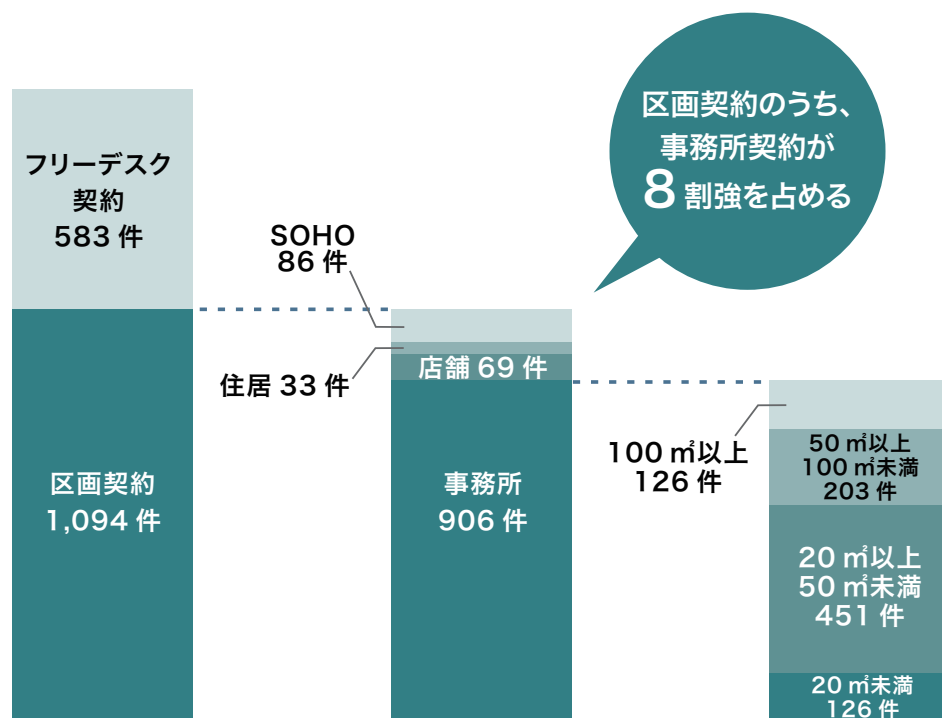
獲得済 PJ **76**件

(2026年3月末時点)



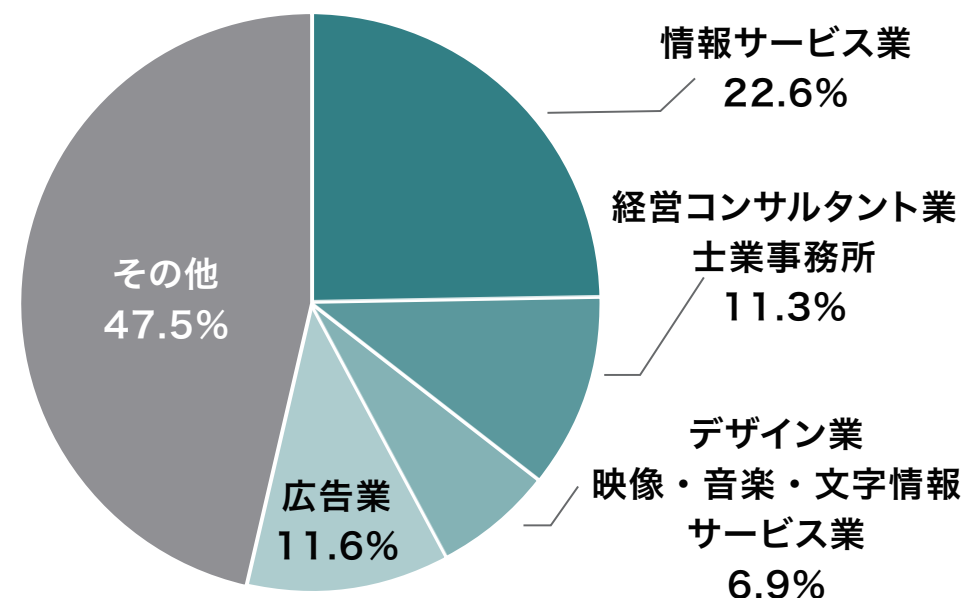
📍 既存獲得済み物件 📍 2026年9月期以降獲得済み物件

入居テナント契約種別



(2026年4月1日時点)

区画：入居テナント業種



(2026年4月1日時点)



01

リアルゲイトについて

02

リアルゲイトの強み

03

26 年 9 月期 第 2 四半期決算

04

成長戦略

不動産の課題を「技術力」「企画・運営力」で解決

日本の不動産が抱える課題

- ① 耐用年数を迎える多くの築古ビル
- ② 建築費高騰
- ③ 新築大規模開発の見直し

リアルゲイトの強み

- ① 「技術力」により安心・安全な物件への再生
- ② 「企画・運営力」により高収益物件へ甦らせる

強みを活かして不動産が抱える問題を解決

中東情勢など不透明な外部環境下でも影響が小さく、ナフサ不足についてもオフィス中心の築古ビル再生への影響は限定的

	影響度	リアルゲイトへの影響
金利上昇	中	● 金利負担の増加で、純利益率が減少する可能性はあるが、営業利益の更なる成長で影響を押し返す ⊖ 金利負担の増加により、純利益率は微減 ⊖ 金利上昇に伴い、保有物件の評価額が低下 ⊕ 工期の長い新築開発は減少、築古ビルの仕入れ環境が向上
物価上昇	小	● 物価上昇で建築費や人件費高騰するも、不動産再生は新築より優位性がある ⊖ 建築費や人件費の高騰で工事費用の負担が増加 ⊕ 新築より費用が少ない不動産再生が選ばれやすい
為替変動	小	● 円安の影響は限定的で為替変動への耐性は高い ● オーナーやテナントは国内企業が中心であり、海外動向に依存しない

建築費の高騰により新築の計画が困難となっている

- ・ 帝国ホテル新本館の着工と完成時期未定（2026年5月）
- ・ さいたま市の義務教育学校新築が3回連続で入札不調（2026年5月）
- ・ 中野サンプラザの完成目標を2034年へ後ろ倒し（2026年3月）
- ・ 新宿駅南口再開発が未着工で完成時期未定（2025年6月）



20年後には約70%の中小規模ビルが法定耐用年数を超える

参考 オフィスピラミッド（都心5区）

東京都心5区 983 万坪 6,781 棟 平均築年数35.2年

中小規模（延床300～5,000坪）

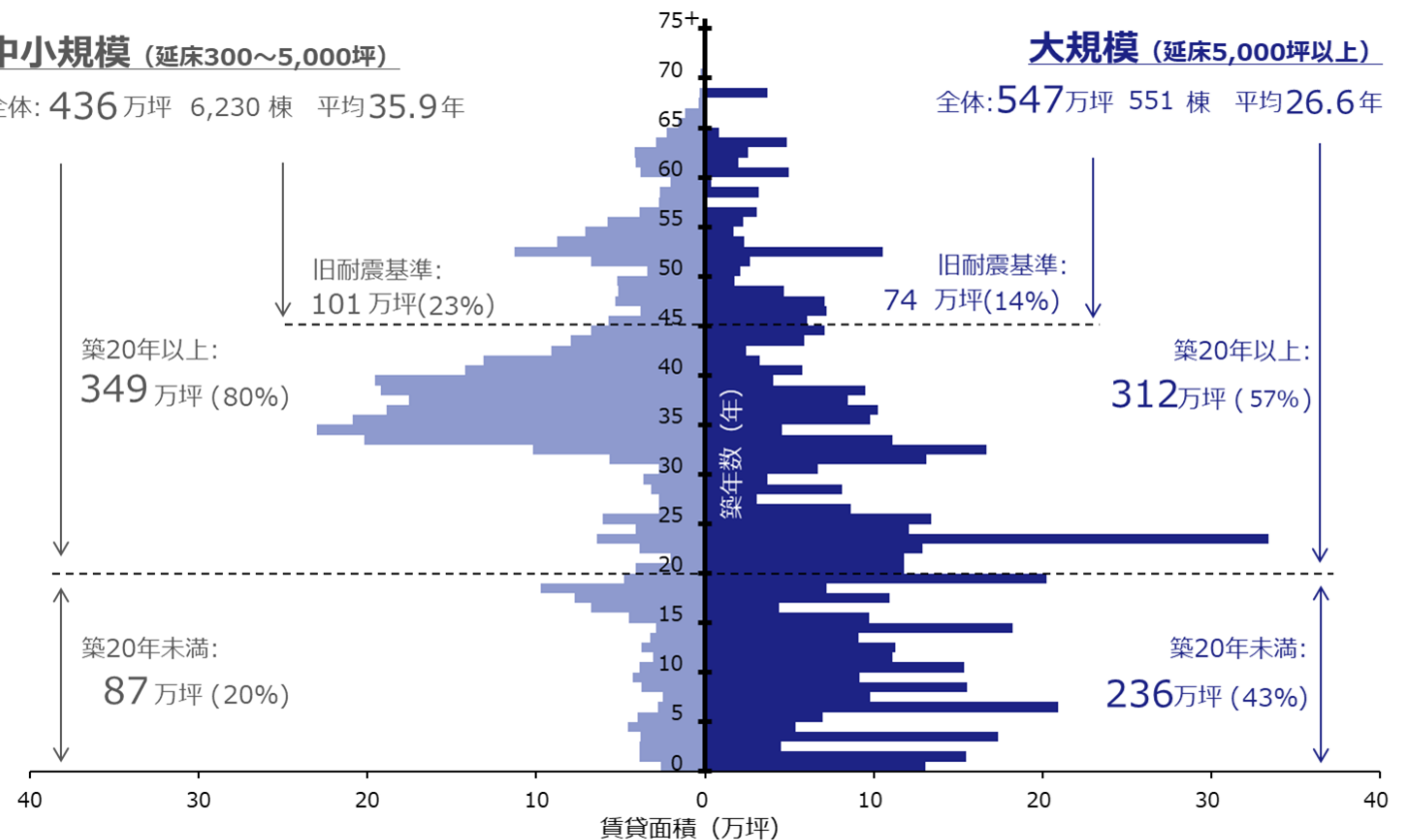
全体: 436 万坪 6,230 棟 平均35.9年

大規模（延床5,000坪以上）

全体: 547 万坪 551 棟 平均26.6年

RC造の耐用年数は50年 →

これから耐用年数を
迎えるビルは増加



▲ザイマックス総研「オフィスピラミッド 2026 東京 23 区・大阪市」
https://soken.xymax.co.jp/report/2601-stock_pyramid_2026.html

耐震補強



1981 年 6 月～ 新耐震基準

耐用年数を伸ばし、不動産の資産価値も向上

耐久性の強化

鉄筋コンクリート造(事務所)
法定耐用年数は 50 年



耐久性の強化

躯体欠損の補修、コンクリート中性化防止等



ER 取得※→耐用年数が延長
＜建物の資産価値向上＞



▲躯体補修（ひび割れ注入工法）

定期的なメンテナンスで安全性と耐久性を維持

定期点検・大規模修繕工事



▲防水工事



▲シーリング工事



▲給排水管更新



▲空調設備更新

検査済証未取得物件の適合性を確保

適合性確保

検査済証未取得※

遵法性確認
一級建築士事務所（社内）

事前協議（審査機関等）

工事※必要な場合

建築基準法適合状況調査
＜適合性確保＞

1981年 建築基準法の大改正

→検査済証を取得する物件が増えた

→それ以前の物件は未取得が多い



増築の場合

【増築】 確認申請・工事

【増築】 完了報告・検査

検査済証取得

余剰面積を計算し増築を行い、賃料収入総額をアップ

増築



最適な用途の変更で、坪単価アップ

用途変更

BEFORE: 倉庫



AFTER: カフェ



最適な用途の変更で、坪単価アップ

用途変更

BEFORE: 事務所



AFTER: ホテル



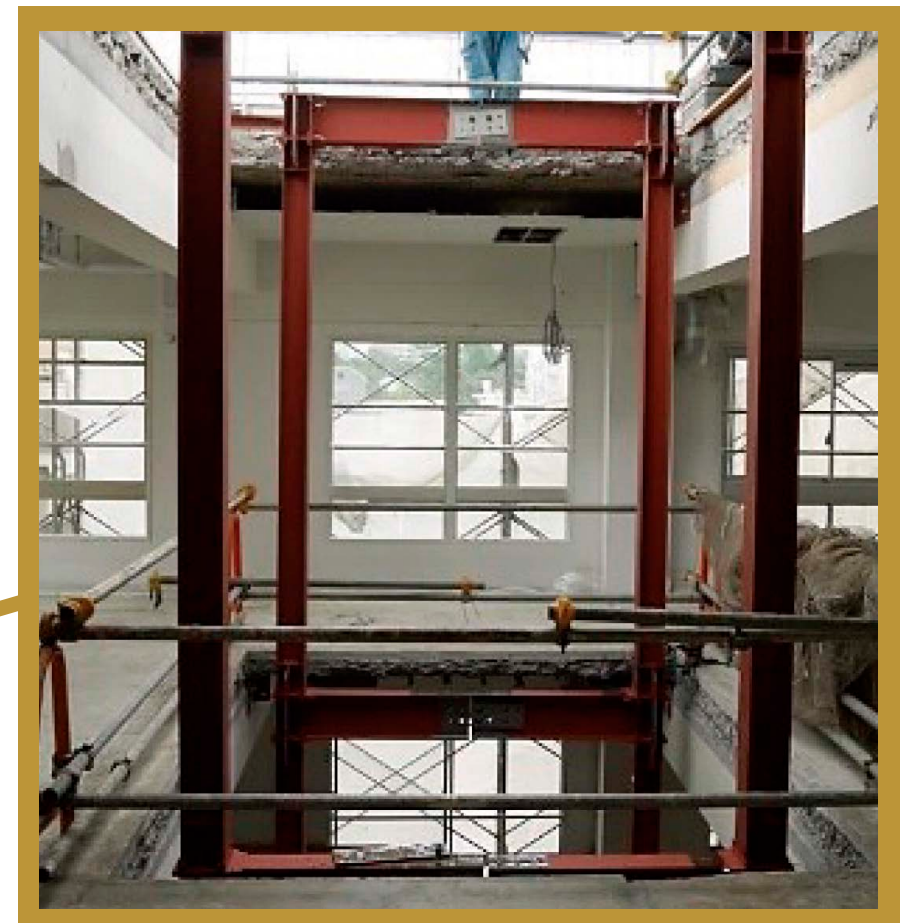
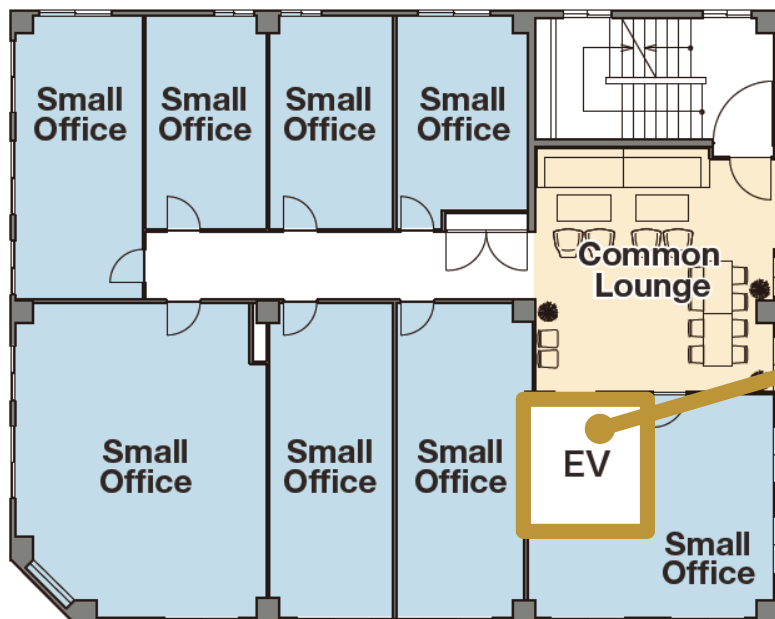
エレベーター新設による利便性の向上により、 物件の価値が大幅アップ

エレベーター新設

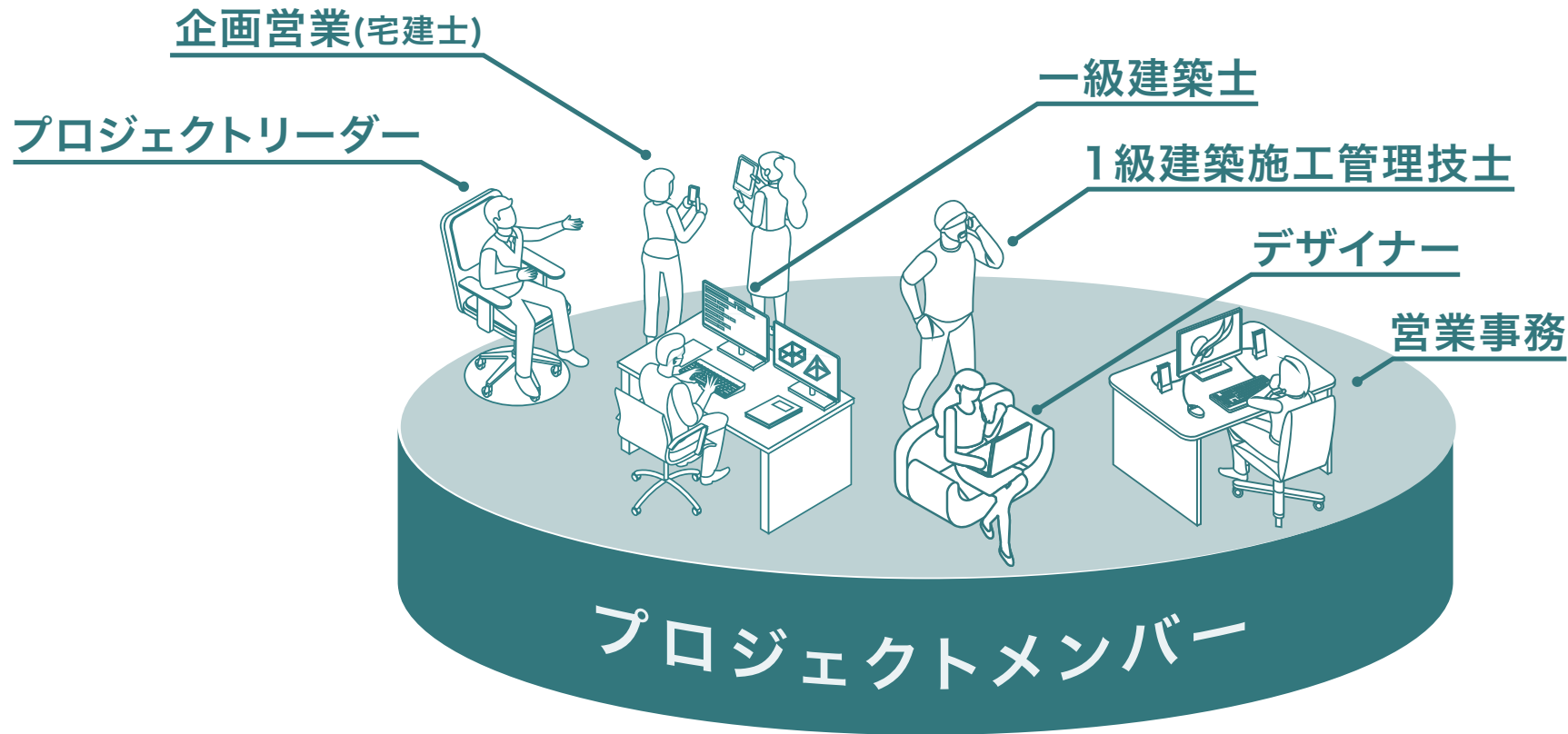
BEFORE: ワンフロアオフィス



AFTER



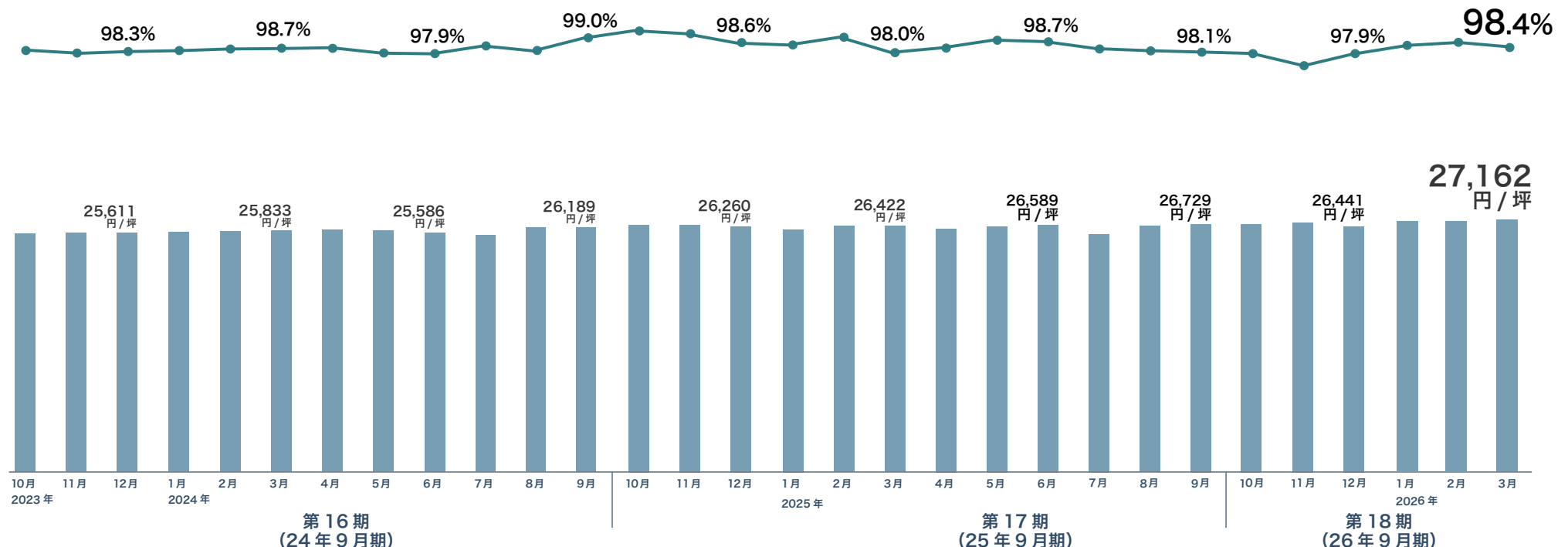
プロジェクトチームを作り、ワンストップで進める



スピード感ある物件づくりを実現

築古ビルを安心・安全に再生し、企画から運営までを実施 テナントと市場の需要をとらえ、高い稼働率と賃料アップを実現

稼働率・平均賃料 (ML・保有 / 既存)



※稼働率及び平均賃料は、竣工後1年以上経過した保有・ML物件のうち、終了予定物件を除外して算出

※稼働率は、「稼働中賃貸面積 ÷ 賃借可能床面積」で算出した数値 (%) ※平均賃料は、「(賃料売上※諸経費等除く) ÷ (貸付可能床面積・坪)」で算出した数値 (円/坪)



01

リアルゲイトについて

02

リアルゲイトの強み

03

26 年 9 月期 第 2 四半期決算

04

成長戦略

売上高 (累計)

5,673 百万円

前年同期比▲11.2%

営業利益 (累計)

1,043 百万円

前年同期比 +33.4%

当期純利益 (累計)

593 百万円

前年同期比 +24.4%

獲得済 PJ

76 件

14 件 (保有) 44 件 (ML)

前年同期 73 件

運営中物件
(竣工済)

66 件

9 件 (保有) 40 件 (ML)

前年同期 64 件

運営面積

106,910 m²9,245 m² (保有) 60,350 m² (ML)前年同期 102,301 m²稼働率
(ML・保有 / 既存)

98.39 %

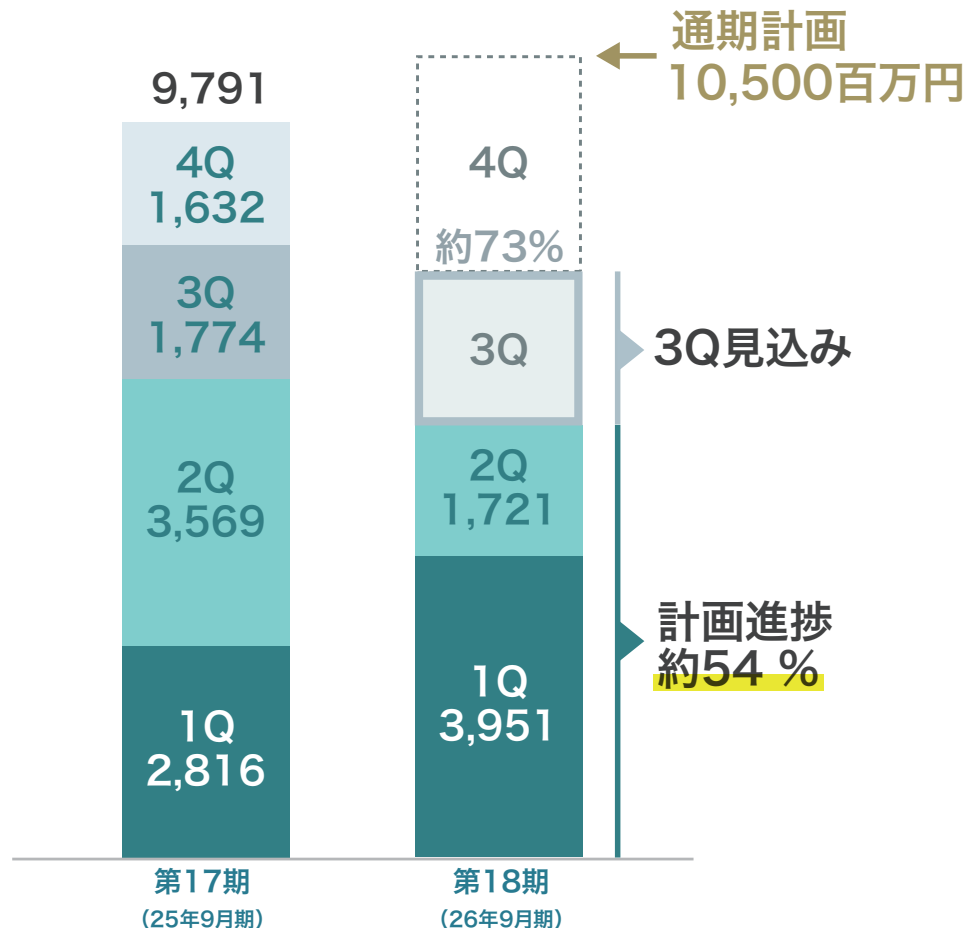
特記事項

- 営業利益の進捗率は計画比 71% と堅調、通期計画達成に向け好調に推移
・ 新規仕入は 3 件獲得 (保有 2 件 [JV1 件含]、ML1 件)
- 26 年 2 月にヒューリック社と合併会社を設立
・ JV 案件は既に 2 件獲得済 (2Q、3Q に各 1 件)
・ 都心好立地で中規模以上の築古ビル取得が想定を上回るペースで進捗
- 中東情勢に伴うナフサ等の建築資材不足の影響は、オフィス中心の築古ビル再生では現状限定的

2Q 時点、売上高は約 54%、営業利益は約 71%の計画進捗
 3Q 時点、売上高は約 73%、営業利益は約 80%の見込み

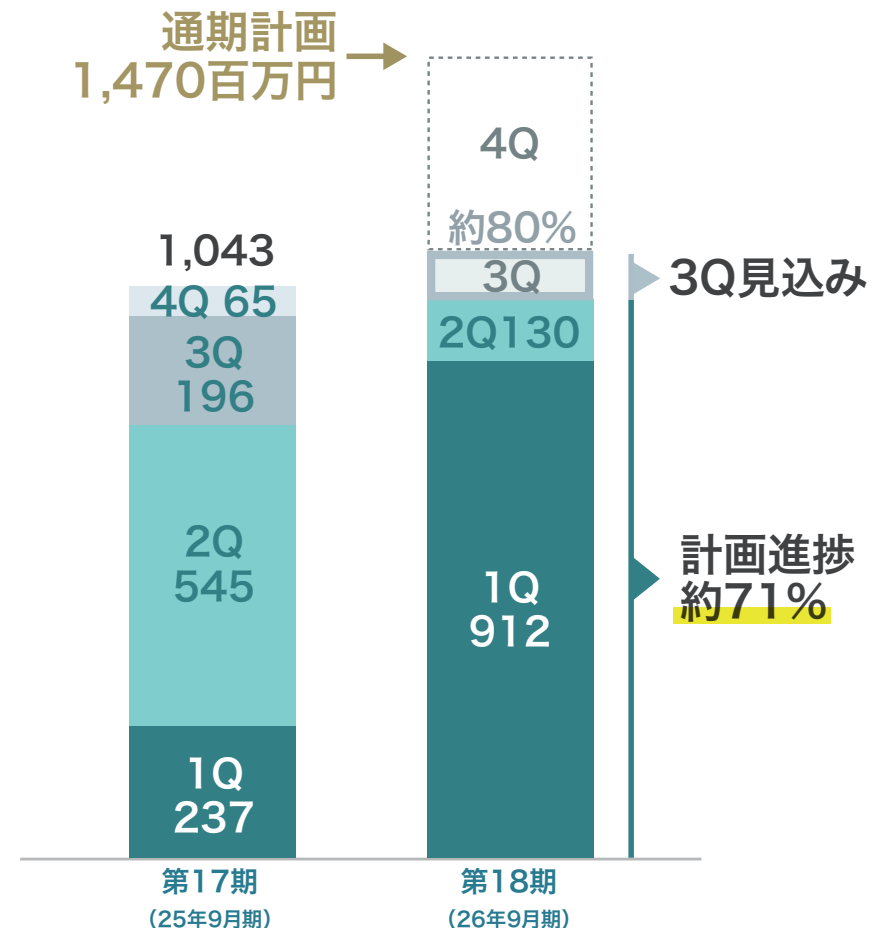
売上高

(単位：百万円)

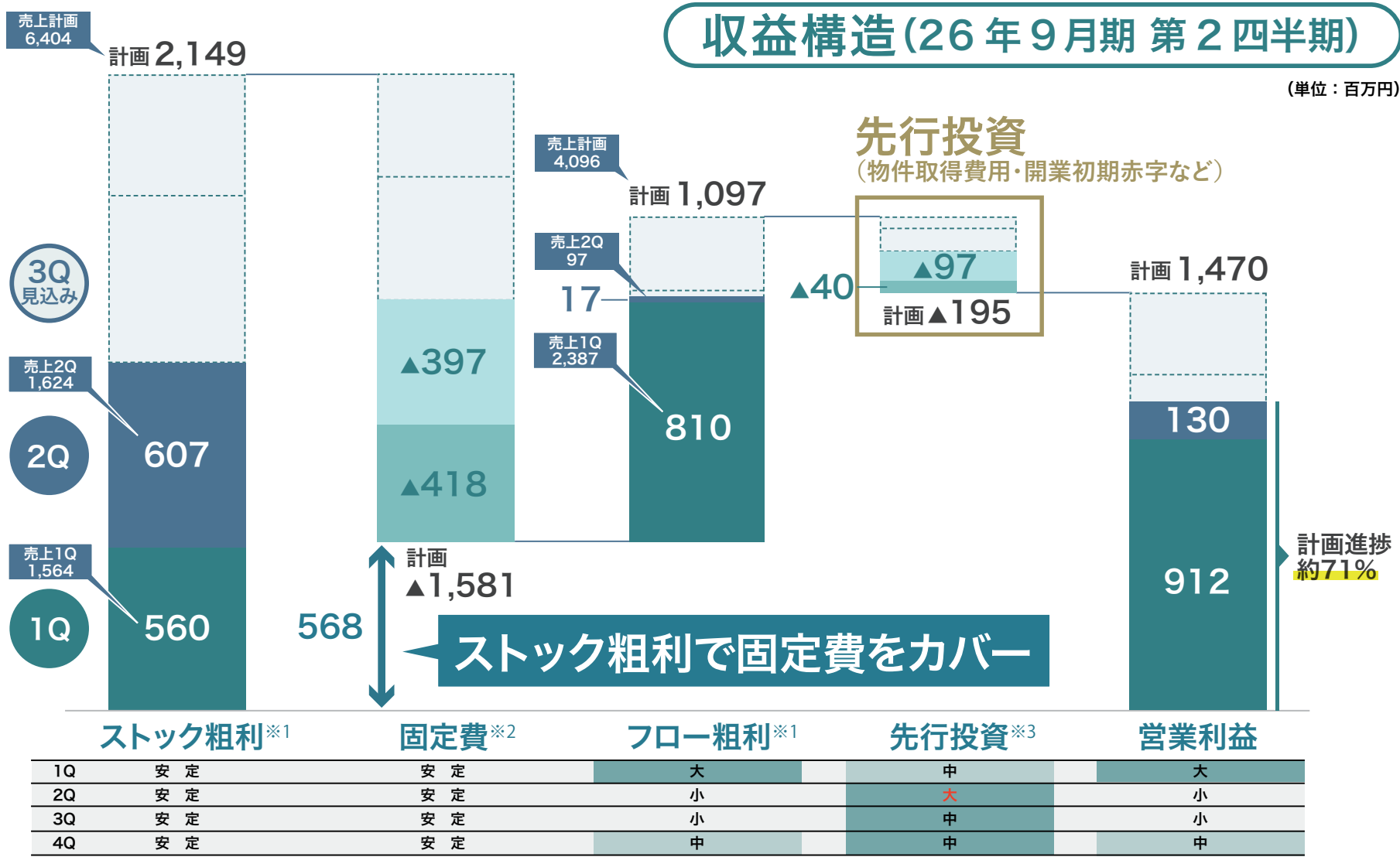


営業利益

(単位：百万円)



ストック粗利は計画を上回って推移、下期も好調に推移した場合、
上振れ分は前期同様に先行投資等へ充当する方針



※1 ストック粗利・フロー粗利には、共通経費（人件費等）配賦前の売上総利益を意味する

※2 固定費は、販管費及び売上原価に含まれる共通経費（人件費等）を意味する

※3 先行投資は、物件取得時に発生する税金など取得時点において発生する費用や、開業初年度において先行する支払い家賃などの開業初期赤字を意味する

52

前年同期比で増益、各段階利益が積み上がっており 通期計画の営業利益 14.7 億円に向けて予定通り進捗

(単位：百万円)	第17期2Q累計 (25年9月期)	第18期2Q累計 (26年9月期)	前年同期比 増減率	第18期 通期予算	予算比 進捗率
売上高	6,385	5,673	▲11.2%	10,500	54.0%
ストック型※1	2,994	3,189	+6.5%		
フロー型※2	3,391	2,484	▲26.7%		
売上総利益	1,113	1,421	+27.7%		
営業利益	782	1,043	+33.4%	1,470	71.0%
営業利益率	12.3%	18.4%			
EBITDA※3	977	1,248	+27.7%		
経常利益	692	874	+26.3%	1,117	78.3%
当期純利益	477	593	+24.4%	725	81.9%

※1 スtock型とは、マスターリース (ML) ・物件保有 (賃貸) におけるテナントからの賃料収受及びプロパティマネージメント (PM) におけるオーナーからの運営委託フィー収受といった物件運営を通じて継続的に得られる収入を指す

※2 フロー型とは、物件運営に付随して発生する設計・施工請負契約の受託や保有物件の売却といった収入を指す ※3 EBITDAは、営業利益+減価償却費を指す

順調な物件の仕入れにより、固定資産を積み上げ

(単位：百万円)	第17期4Q	第18期 (26年9月期2Q)	前期末比増減
流動資産	4,472	3,192	▲1,279
現金及び預金	947	551	▲395
販売用不動産	2,372	1,323	▲1,049
固定資産	16,792	22,050	5,257
有形固定資産	14,440	19,477	5,036
流動負債	3,901	5,004	1,102
固定負債	14,011	16,174	2,162
純資産	3,351	4,063	712
負債・純資産	21,264	25,242	3,978
流動比率	114.6%	63.8%	▲50.8%
自己資本比率	15.5%	15.8%	0.2%

期初計画 8 件の仕入れを 12 件に修正し、来期以降の成長を促す

獲得時期	開業時期※1	物件名/PJ名			所在地	契約形態	運営面積(㎡)※2
第18期(26年9月期)開業予定							
25年9月期	25年10月済	(1)	THESTEPS/SHIFT HOTEL	再生	渋谷区	ML	2,157
24年9月期	25年10月済	(2)	FURAM SANGUBASHI	再生	渋谷区	保有 (販売用)	904
23年9月期	26年1月 済	(3)	(仮称)原宿新築ビルPJ	新築	渋谷区	CM※3	1,812
25年9月期	26年4月	(4)	JINNAN VALLEY	再生	渋谷区	ML	1,238
26年9月期1Q	26年4月	(6)	unframe	再生	世田谷区	保有 (長期)	1,146
25年9月期	26年6月	(5)	(仮称)千駄ヶ谷1丁目再生PJ	再生	渋谷区	保有 (長期)	1,474
25年9月期	26年7月	(7)	(仮称)港区芝5丁目再生PJ	再生	港区	保有 (長期)	1,059
23年9月期	26年7月	(8)	(仮称)目黒区大橋1丁目新築PJ	新築	目黒区	保有 (販売用)	1,124
25年9月期	26年9月	(9)	(仮称)中目黒1丁目再生PJ	再生	目黒区	保有 (長期)	1,913
25年9月期	26年9月	(10)	(仮称)上目黒1丁目商業施設新築PJ	新築	目黒区	ML	2,364
第19期(27年9月期)以降開業予定							
26年9月期1Q	26年10月	(11)	(仮称)祐天寺2丁目再生PJ	再生	目黒区	保有	717
25年9月期	26年10月	(12)	(仮称)渋谷区千駄ヶ谷再生PJ	再生+増築	渋谷区	PM	860(増築分:+93)
26年9月期1Q	27年1月	(13)	(仮称)港区南青山商業施設新築PJ	新築	港区	ML	1,147
① 26年9月期2Q	NEW 27年1月	(14)	(仮称)渋谷区上原再生PJ	再生	渋谷区	ML	5,072
② 26年9月期3Q	NEW 28年1月	(15)	(仮称)中央区銀座再生PJ	再生	中央区	JV※4 (持分15%)	2,500 (持分:375)
③ 26年9月期2Q	NEW 未定	(16)	(仮称)富ヶ谷2丁目再生PJ	再生	渋谷区	保有	1,120
④ 26年9月期2Q	NEW 未定	(17)	(仮称)渋谷区東1丁目再生PJ	再生	渋谷区	JV※4 (持分20%)	2,431 (持分:486)
⑤ 26年9月期3Q	NEW 未定	(18)	(仮称)青葉台3丁目再生PJ	再生	目黒区	保有	777

※1 開業時期は、プロジェクトの竣工（工事完了）時期を指す ※2 運営面積は、開業前物件については見込みの概算数値であり、変動の可能性がある
※3 CMは、コンストラクションマネジメントを指し、設計や施工など、不動産に関するマネジメント業務が含まれる
※4 JVモデルは、設計・施工・PMに加え、キャピタルゲインも獲得

26年9月期は6月時点で6件の保有物件を獲得

	取得時期	物件名称	立地	築年数 (26年3月末時点)	延床面積 (㎡)
23年9月期 (1,334㎡)	23年 5月	① AMBRE	渋谷区千駄ヶ谷3丁目	38年	1,334
	24年 3月	② (仮称)目黒区大橋1丁目新築PJ (売却決定済)	目黒区大橋1丁目	—	1,124
24年9月期 (4,354㎡)	24年 6月	③ FACET72	渋谷区鉢山町	34年	921
	24年 6月	④ FACET71	渋谷区鉢山町	28年	1,405
	24年 9月	⑤ FURAM SANGUBASHI	渋谷区代々木4丁目	32年	904
	24年12月	⑥ (仮称)中目黒1丁目再生PJ	目黒区中目黒1丁目	35年	1,913
25年9月期 (5,640㎡)	25年 3月	⑦ OMB北参道	渋谷区千駄ヶ谷3丁目	43年	446
	25年 3月	⑧ OMB東麻布	港区東麻布2丁目	62年	716
	25年 8月	⑨ (仮称)港区芝5丁目再生PJ	港区芝5丁目	63年	1,059
	25年 9月	⑩ (仮称)千駄ヶ谷1丁目再生PJ	渋谷区千駄ヶ谷1丁目	56年	1,474
	25年10月	⑪ unframe	世田谷区池尻3丁目	34年	1,146
26年9月期 (4,622㎡)	25年12月	⑫ (仮称)祐天寺2丁目再生PJ	目黒区祐天寺2丁目	33年	717
	26年 2月	JV NEW ⑬ (仮称)渋谷区東1丁目再生PJ※1	渋谷区東1丁目	41年	486 (2,431×20%)
	26年 3月	NEW ⑭ (仮称)富ヶ谷2丁目再生PJ※2	渋谷区富ヶ谷2丁目	30年	1,120
	26年 4月	JV NEW ⑮ (仮称)中央区銀座再生PJ※3	中央区銀座	41年	375 (2,500×15%)
	26年 6月	NEW ⑯ (仮称)青葉台3丁目再生PJ	目黒区青葉台3丁目	—	777

➡16件の延べ床面積 計15,918㎡満室時の年間想定賃料は合計約14.4億円

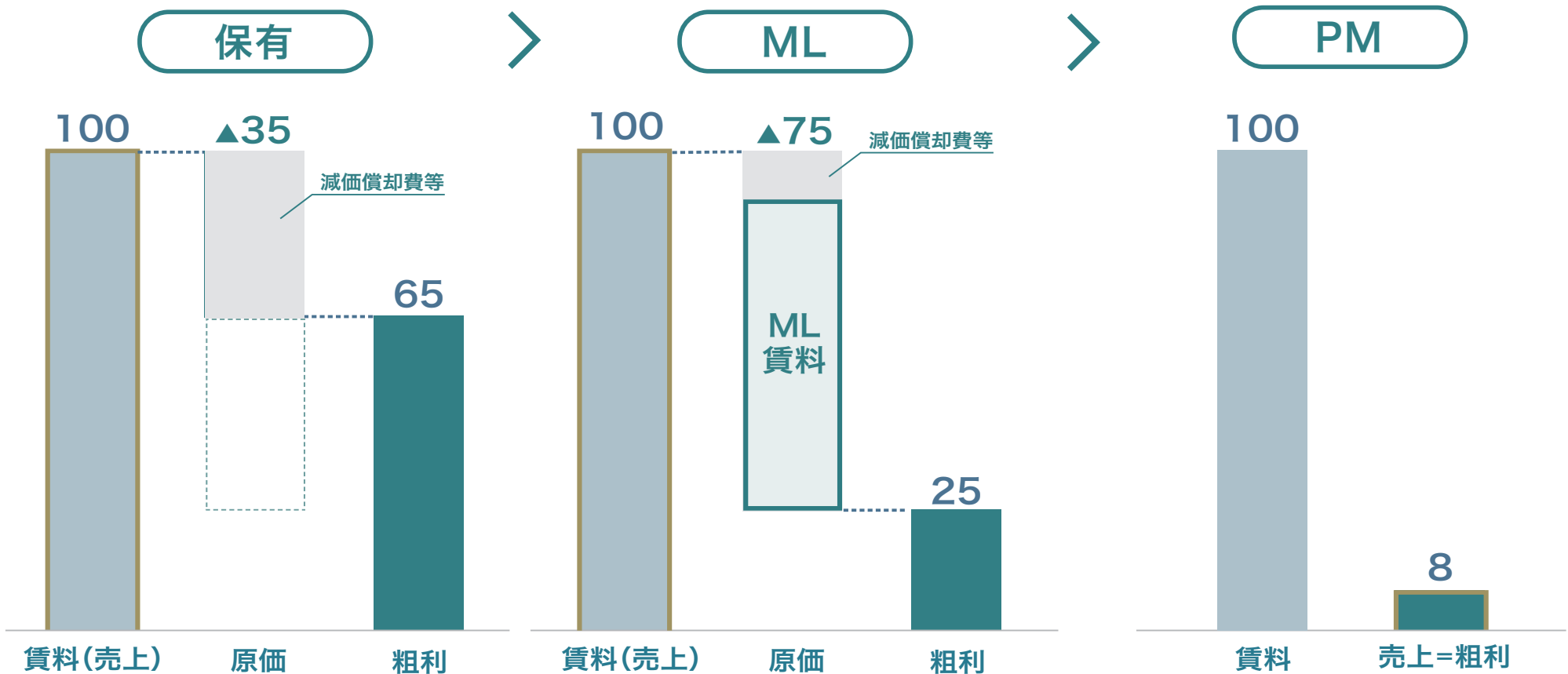
※1 2026年2月20日 固定資産の取得に関するお知らせ: https://realgate.jp/ir/upload_file/tdnrelease/5532_20260220566017_P01_.pdf

※2 2026年3月10日 固定資産の取得に関するお知らせ: https://realgate.jp/ir/upload_file/tdnrelease/5532_20260310578773_P01_.pdf

※3 2026年4月6日 固定資産の取得に関するお知らせ: https://realgate.jp/ir/upload_file/tdnrelease/5532_20260406598668_P01_.pdf

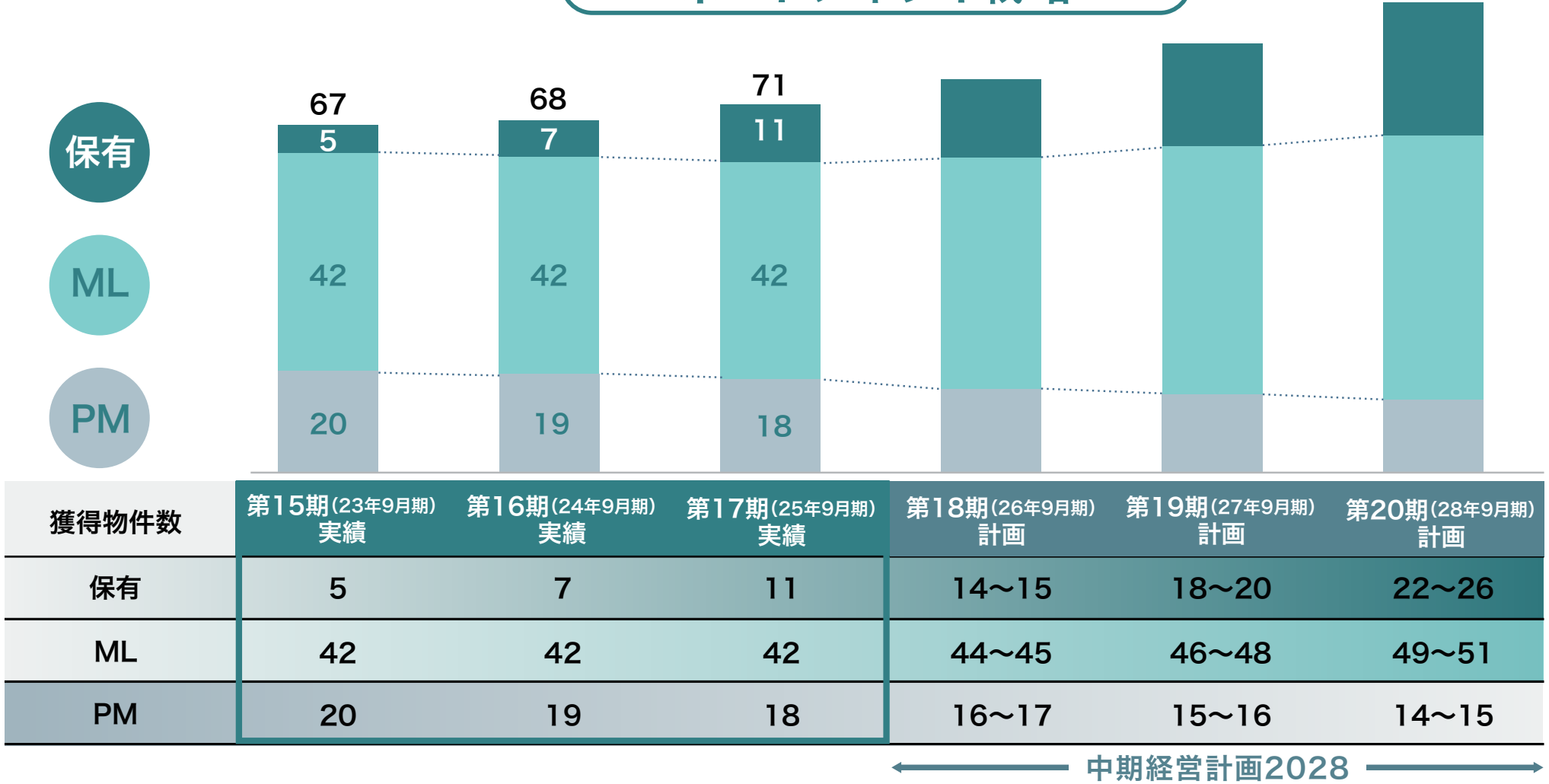
収益性の高い物件を優先して獲得を進める(保有>ML>PM)

- ・保有は、支払い賃料がないため、売上の65%程度が粗利
- ・ML(マスターリース)は、支払い賃料があり、売上の25%程度が粗利
- ・PM(運営受託)は、手数料収入のため、賃料の8%程度が売上(=粗利)



収益性の高い保有物件比率を高め、営業利益率を向上させる

ポートフォリオ戦略

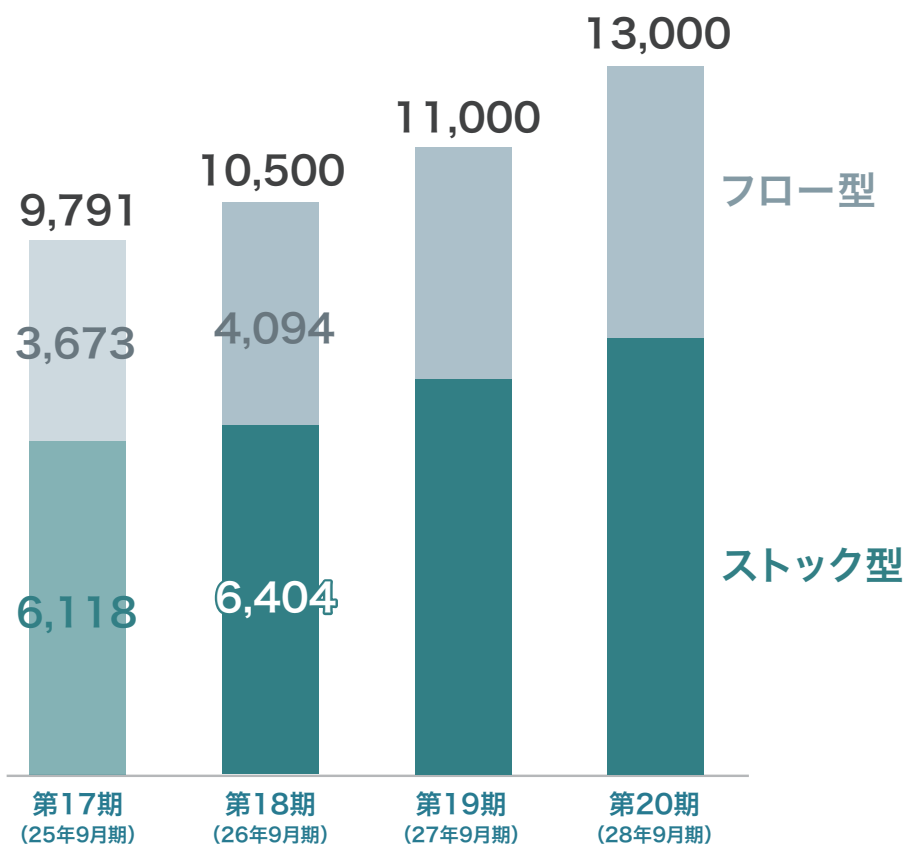


ストック型収益を基盤に業績拡大、営業利益率も向上

売上高

CAGR 9.9% ※

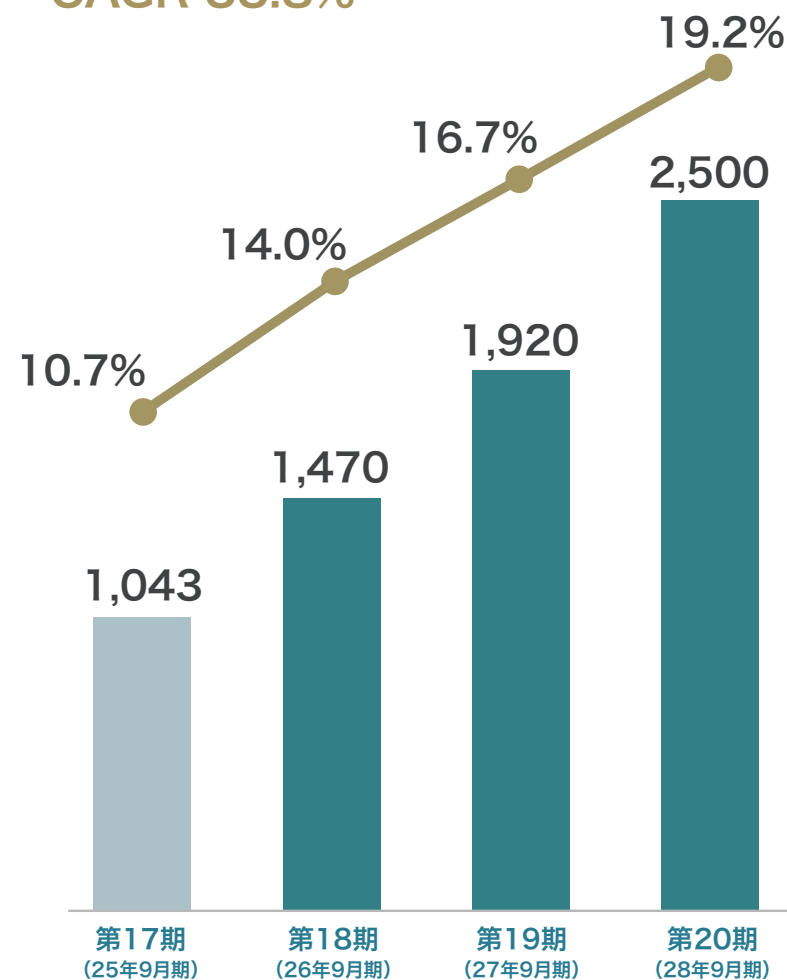
(単位：百万円)



営業利益・営業利益率

CAGR 33.8% ※

(単位：百万円)





01

リアルゲイトについて

02

リアルゲイトの強み

03

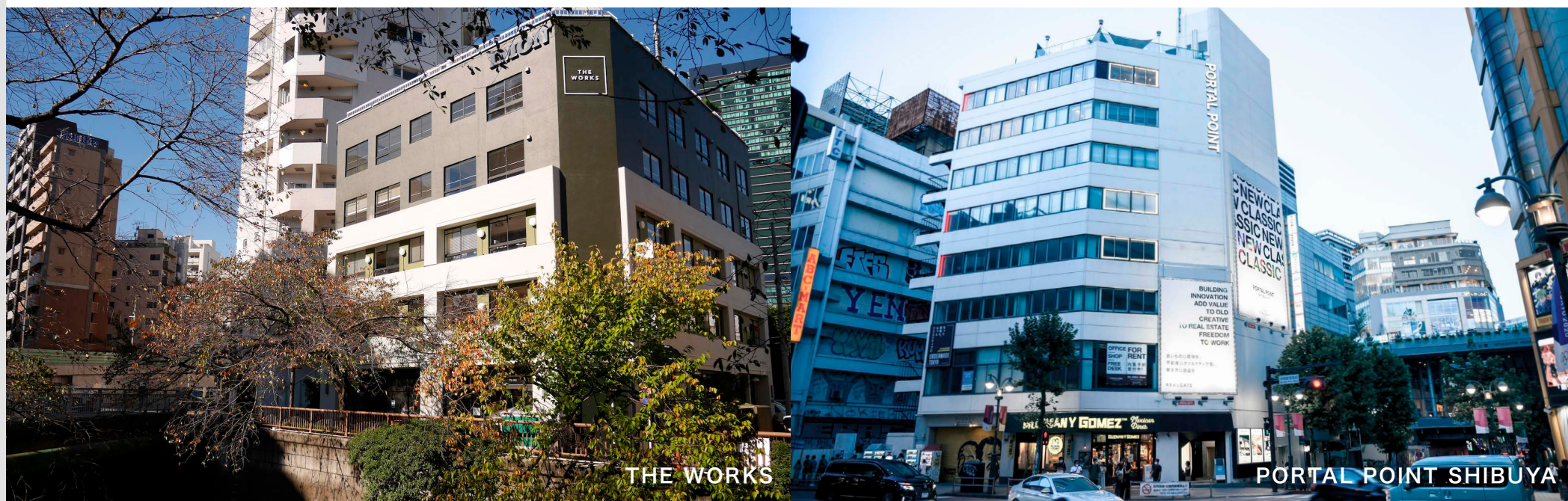
26 年 9 月期 第 2 四半期決算

04

成長戦略

「技術 × 発想 × 資本」で100年使える建物を次世代へつなく、そのハブとなるのがリアルゲイト

- ① 100年使える建物を再評価し、古さと新しさの共存で街の寿命と価値を延ばす
- ② 安全性の担保と用途転用を可能にする技術で、建物の寿命と価値を延ばす
- ③ 用途ミックス × 体験設計で人の交流と経済循環を生み、街に新たな価値を創出
- ④ 大手デベロッパーとのJVやファンド組成を検討し、大型再生案件に挑む体制を整備



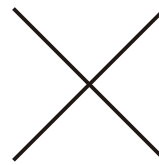
ヒューリックと合併会社「HistoRy」設立

早期に 1,000 億円超の共同出資を目指し、不動産中古市場シェア拡大



強み 資本金力、投資ノウハウ、スピード

狙い 新規事業、ポートフォリオ拡充



REALGATE

強み 不動産再生、運営、スピード

狙い 中～大型物件の運用

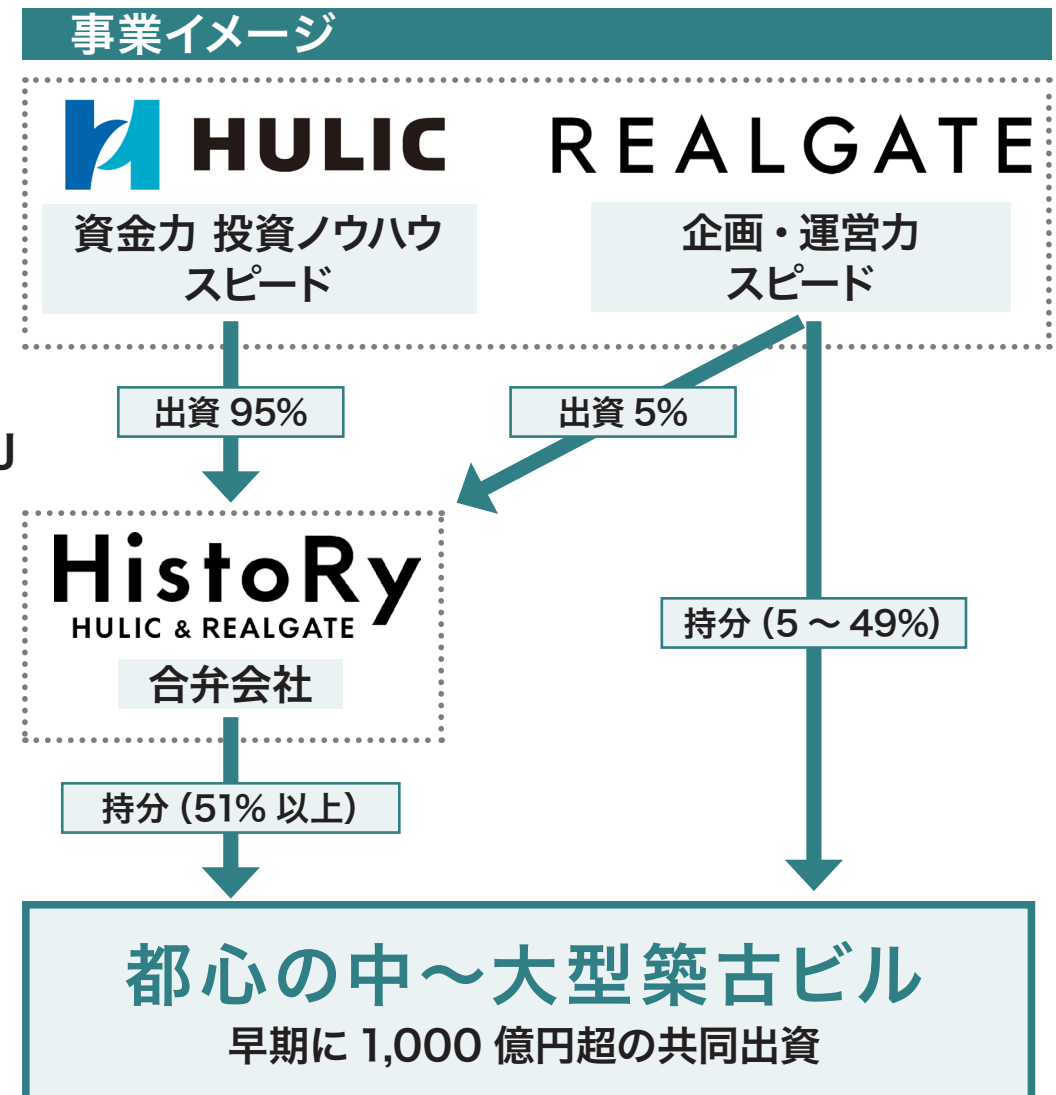


HistoRy

- 資金力・再生力・スピードを備えた合併会社を設立
- 東京都心部を中心とした中～大型築古不動産の共同取得
- 当社の企画力・運営力を活かした築古ビル再生の実施
- 再生後物件の保有及び売却を含む柔軟な出口戦略の検討

両者の強みを活かし、JV 設立から事業をスピード展開 既に 2 物件を獲得し、更なる物件の事業化を目指す

- 2026 年 2 月 3 日**
合併会社「HistoRy」設立
 ヒューリック社と当社で設立
 中規模以上の築古ビル再生へ参入
- 2026 年 2 月 20 日**
JV1 号物件：(仮称) 渋谷区東 1 丁目再生 PJ
 約 2,400㎡の物件、共有持分は 20%
- 2026 年 4 月 6 日**
JV2 号物件：(仮称) 中央区銀座再生 PJ
 約 2,500㎡の物件、共有持分は 15%
 約 40 室のアパートメントホテルへ再生予定
- 2026 年中**
 さらに 2 物件の事業化目途付け



多様なキャッシュポイントを創出し、持分に応じた収益を獲得

設計・施工

運営・リーシング

売却

フロー型収入

設計・施工請負収入

HistoRy からの受託収益
(HistoRy → REALGATE)HistoRy 持分の工事を請
け負うことで、確実な収益
を獲得

ストック型収入

PM・リーシング収入

物件運営とリーシングを
担うことで、継続的かつ
安定した収益を獲得

ストック型収入

PM 収入

売却後も運営を受託、
継続的に収益を獲得

ストック型収入

賃料収入

リアルゲイト持分の収益
(物件保有と同等)

投資・バリューアップ期間

単独保有に比べ事業リス
クや金利負担を抑制し、
持分に応じた賃料を獲得

フロー型収入

物件売却益

持分に応じて、
バリューアップによる売
却益を獲得

2026 年 5 月に資金調達（公募及び第三者割当）を発表 強固な財務基盤の構築により仕入を強化し、事業拡大を加速

強固な財務基盤の構築

ヒューリック社から約 11.8 億円の出資

調達資金
約 26 億円

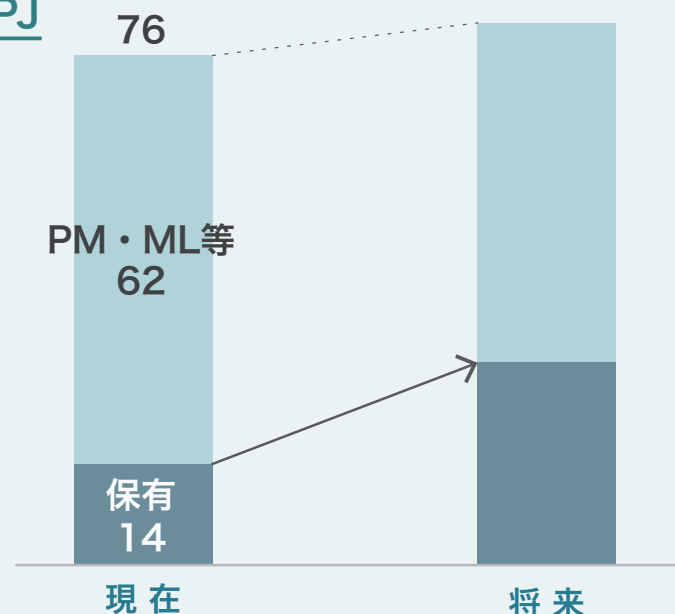
事業拡大に向けた原資

財務体質の強化

新規物件の仕入拡大・大型化

保有物件比率を高めるポートフォリオ戦略
仕入のパイプラインの積み上げ

獲得済 PJ



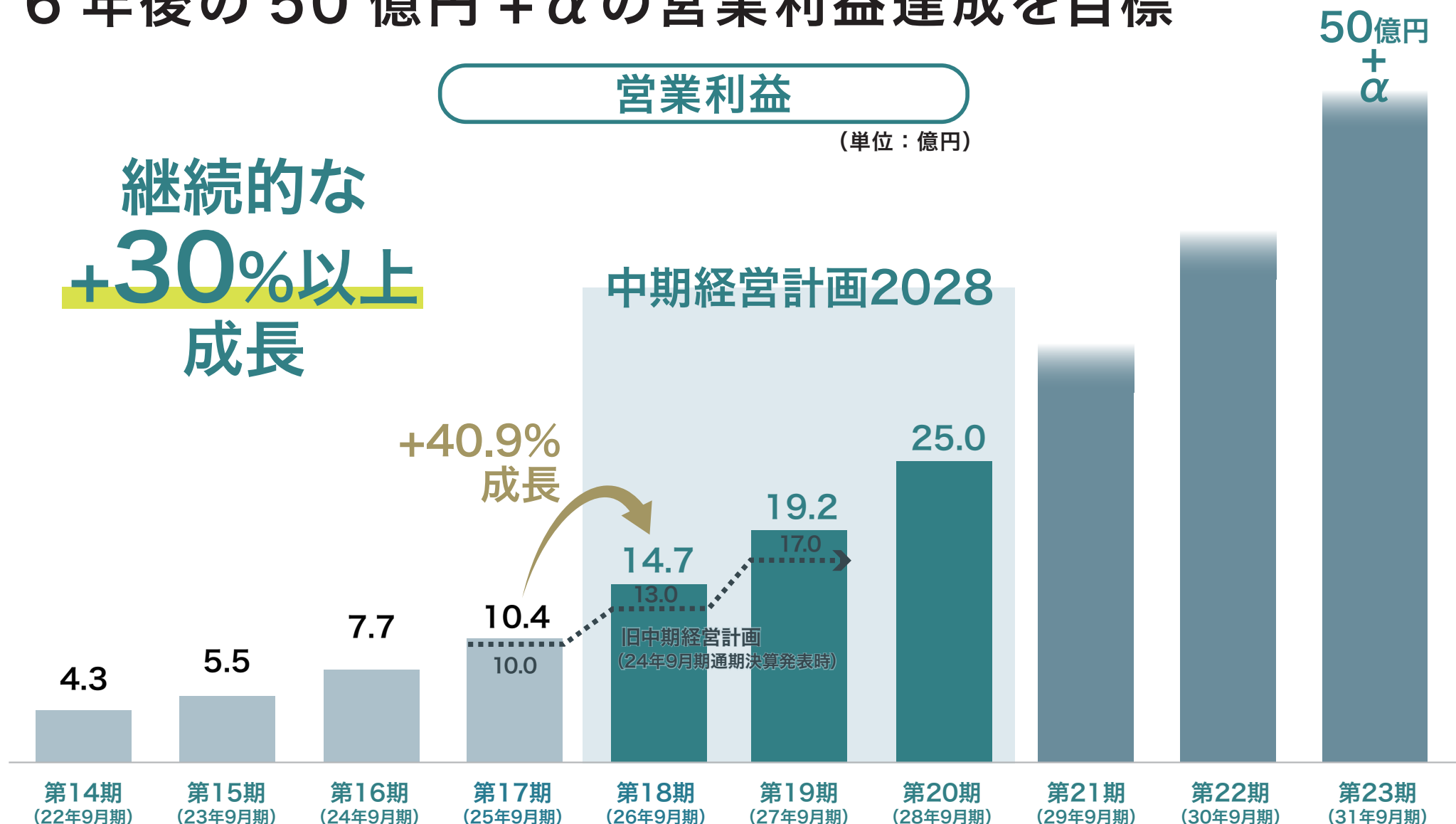
営業利益の 30% 以上の継続的な成長 6 年後の 50 億円 + α の営業利益達成を目標

営業利益

(単位：億円)

継続的な
+30%以上
成長

中期経営計画2028



実際に空間をご体感いただける物件の紹介

<https://realgate.jp/propertytour/>



REALGATE
Property tour



本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

お問合せ先

リアルゲイト IR 室

Email: ir@realgate.jp

IR 情報 : <https://realgate.jp/ir/>